



5月園だより

ホームページ <https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/minamisenju2/index.html>



しなやかさとたくましさ

園長 立石 晃子

初夏の日差しが眩しい季節になりました。南千住で有名なドナウ通りのツツジも満開で、一番華やかな季節です。入園、進級を迎えた今年の子供たちは、毎日少しずつ新しい生活に慣れていっています。大きくなった喜びとともに、今までと違うことへの戸惑いと、「大きくなるってこういうこと」と自分に言い聞かせ、現実を受け止めようとしているように感じられます。

入園して間もなく、泣きながら登園してきたお子様がいらっしやいました。保護者の方は私にお子様を預け、すぐに帰ってくださいました。すぐに泣き止んだので、(昨日電車で遊んだということを伺っていたので)「電車で遊ぼう」と声を掛けましたが返答がなく、遠くの園門をじっと見つめていました。その様子から、きっと今の気持ちに整理をつけて、幼稚園で遊ぼうと気持ちを変えようとしていると思い、必要以上に声を掛けず、見守ることにしました。しばらく無言で座りこんでいましたが、突然、下駄箱に走り靴を履き替えました。保護者を探しに行くのかな、とついていくと、外へは出ず下駄箱そばのスノコに座り込みました。またしばらくすると、靴の飾り穴に指を入れたかと思うとマジックテープを剥がしすっと靴を脱ぎ、下駄箱にしまい、何事もなかったようにままごと遊びへと向かっていきました。このお子様の姿を見て、自分で逆境を乗り越える力があり、それを信じて見守ってあげてよかった、と思いました。

千葉大学の砂上史子教授は、変化が早く先の見通せない時代において、持続可能な社会の創り手となり、様々な逆境を乗り越える力は、従来のやり方や自分の考えだけに固執しない『しなやかさ』と、思い通りに行かない状況や失敗・挫折に向き合い乗り越える『たくましさ』と捉えることができ、『しなやかさ』と『たくましさ』の両方が幼児教育において育む資質・能力として重要であると述べられています。そして育むために必要なこととして、「小さな逆境」を大切にする、「質のよい失敗」を生み出す、「答えのない事態に耐える力」を育む、「自分を大切にする力」を育む、の4点を挙げています。子供たちは新しい環境を受け止めていこうとしています。大人は子供の力を信じ、自ら動くまで待ち、変わることができた喜びを共感していきたいものです。その際に大人は、「子供は常に楽しく友達と過ごすべき」という固定観念を捨て、子供の思いや育とうとしている力を予想し、必要以上に手や声を掛けないということが求められます。大人にも『しなやかさ』と『たくましさ』が必要で、これは人間の永遠のテーマなのかも知れません。

楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

< 3 歳もも組 >

今日は、あれで遊びたいな！先生も一緒に遊ぼう！

入園して1ヶ月が経ち、子供たちは自分の好きな遊びを見つけて楽しんでいます。「幼稚園楽しいね！」「先生もこっちに来て遊ぼう」「明日も幼稚園ある？」という声が聞こえるようになり、幼稚園や教師の存在が安心できる場や相手になってきているようです。ままごとコーナーでは、友達と「お茶をどうぞ」とカップに注ぎ合い、「おいしいね」「熱いよ！フーフー」「無くなっちゃった！」「入れてくるね」とお茶会を楽しむ姿があるなど、少しずつ友達との関わりも増えてきています。リズム遊びも大好きになり、リズムのフレーズを口ずさみながら、みんなで思い切り体を動かして遊ぶ様子も見られるようになってきました。

5月は、いよいよ弁当が始まり、降園時間が午後になります。親子遠足も楽しみですね。戸外では、みんなで追いかっこをしたり裸足で芝生や土の感触を味わったり、幼稚園だからこその遊びを楽しみ、幼稚園生活がますます大好きになるように過ごしていきます。

< 4 歳たんぼ組 >

一緒に遊ぶと楽しいね！いっぱい遊ぼう！

入園、進級から1ヶ月が経ちました。もも組が泣いている姿を見て、「寂しいのかな」「大丈夫だよって声をかけてくる」とお兄さん、お姉さんになった喜びを感じ、優しく思いやる姿が見られます。新しい環境に緊張していた子供たちも、自分のやりたい遊びを見つけて、ちょっとずつ表情が柔らかくなり笑顔で遊ぶ姿が見られます。「それ、良い考えだね」「面白そう」と子供たちから出てくる豊かな表現力に担任もドキドキ・ワクワク一緒に楽しんで遊んでいます。

戸外では、大きな砂場で料理を作ったり、山作りをしたりして遊んでいます。暖かい日には、水を使って、ダイナミックに川や池を作る姿もあります。草花をかき分けてダンゴムシ虫探しも楽しんでいます。室内では、中型積み木やおままごとセットを使ってお家ごっこをしたりして遊んでいる子もいます。たんぼ組で過ごす時間が楽しいと思えるように援助していきます。

< 5 歳ばら組 >

みんなで考えてみよう！ あ、それいいねー！へー！ がいっぱい広がる！

進級して1か月、幼稚園で一番大きい年長児として、係りの仕事を頑張ろう、もも組さんのお世話を頑張ってみよう！などという気持ちがいっぱいの4月でした。でも実際やってみると張り切っているけどうまくいかなかったり、遊びたい気持ちやちょっと手を抜きたい日もあったり...なので、子供たちと一緒に、どうしてそれをやらねばならないのか、どうやるといいのかななどを度々話してみています。「大変だけど大事な役割」ということに気付いたり、友達の意見に「それいいねー！」と思えることや、やりながらよりよい方法を考えたり、それを友達にも伝えたりしながら幼稚園のリーダーとしての自覚をもたせ、自信をもって生活を進めていきます。

園庭遊びや、遠足などから、虫や植物への興味も膨らんでいます。「なんで？」「どうなってる？」を大切に集め、みんなで調べたり、気付いたことを伝え合ったりしながら話題にして、たくさんの「不思議」と出会っていきます。